

取扱いの趣旨

レニン活性等は、二次性高血圧症の原因疾患の診断や経過観察に用いられるため、経過観察時における二次性高血圧症等がない高血圧症のみに対する算定は原則として認められない。

支払基金が公表している取扱いの全文

【投薬】 《令和6年7月31日》

253 経過観察時における二次性高血圧症等がない高血圧症のみに対するコルチゾールの算定について

○ 取扱い

経過観察時における二次性高血圧症等がない高血圧症のみに対する次の検査の算定は、原則として認められない。

- | | | |
|----------------------|-------------------------------|------------------------|
| (1) D008「8」レニン活性 | (2) D008「10」レニン定量 | (3) D008「14」コルチゾール |
| (4) D008「15」アルドステロン | (5) D008「15」アルドステロン（尿） | (6) D008「29」カテコールアミン分画 |
| (7) D008「37」カテコールアミン | (8) D008「45」メタネフリン・ノルメタネフリン分画 | |

○ 取扱いを作成した根拠等

一般的にいう高血圧症は、生活習慣・食生活・遺伝的素因など様々な要因の組合わせにより発症するものを指すことが多く、このような原因が特定できない高血圧症を本態性高血圧症といい、他の疾患が原因となっている場合を二次性高血圧症という。血圧上昇を症状の一つとする疾患は、すべて二次性高血圧の原因となり、その主なものとしては、内分泌疾患、血管疾患、睡眠障害などがあげられる。

上記の各種ホルモン検査は、二次性高血圧症の原因疾患の診断ならびに経過観察に用いられる。

以上のことから、経過観察時における二次性高血圧症等がない高血圧症のみに対する上記検査の算定は原則として認められないと判断した。

検証結果及び対応状況

検証観点	フォローアップ対象都道府県	備考
①適正な審査割合が低い	宮城、愛媛、岐阜、山梨、栃木、青森、大分	適正な審査割合の低い順
②請求どおり・職員	宮城、栃木、岐阜、大分	対象1万件当たり件数の多い順
③請求どおり・審査委員	山梨、愛媛、岐阜、青森、宮城、大分、栃木	〃

■①から③を通して、請求どおりのレセプトを適正な審査と判断した主な理由

- ・診療内容及びコメントより、抗悪性腫瘍剤投与中の内分泌機能への副作用チェックとしての検査であり、妥当と判断した事例

■取扱いと異なる審査の多い都道府県の対応状況

①適正な審査割合が低い：職員及び審査委員の認識誤り（失念、誤解等）

⇒上司から教育及び審査委員長から連絡・再周知

②請求どおり・職員：職員の認識誤り（失念、誤解等によるコンピュータチェックの解除）

⇒上司から教育

③請求どおり・審査委員：審査委員の認識誤り（失念、誤解等）

⇒審査委員長から連絡・再周知

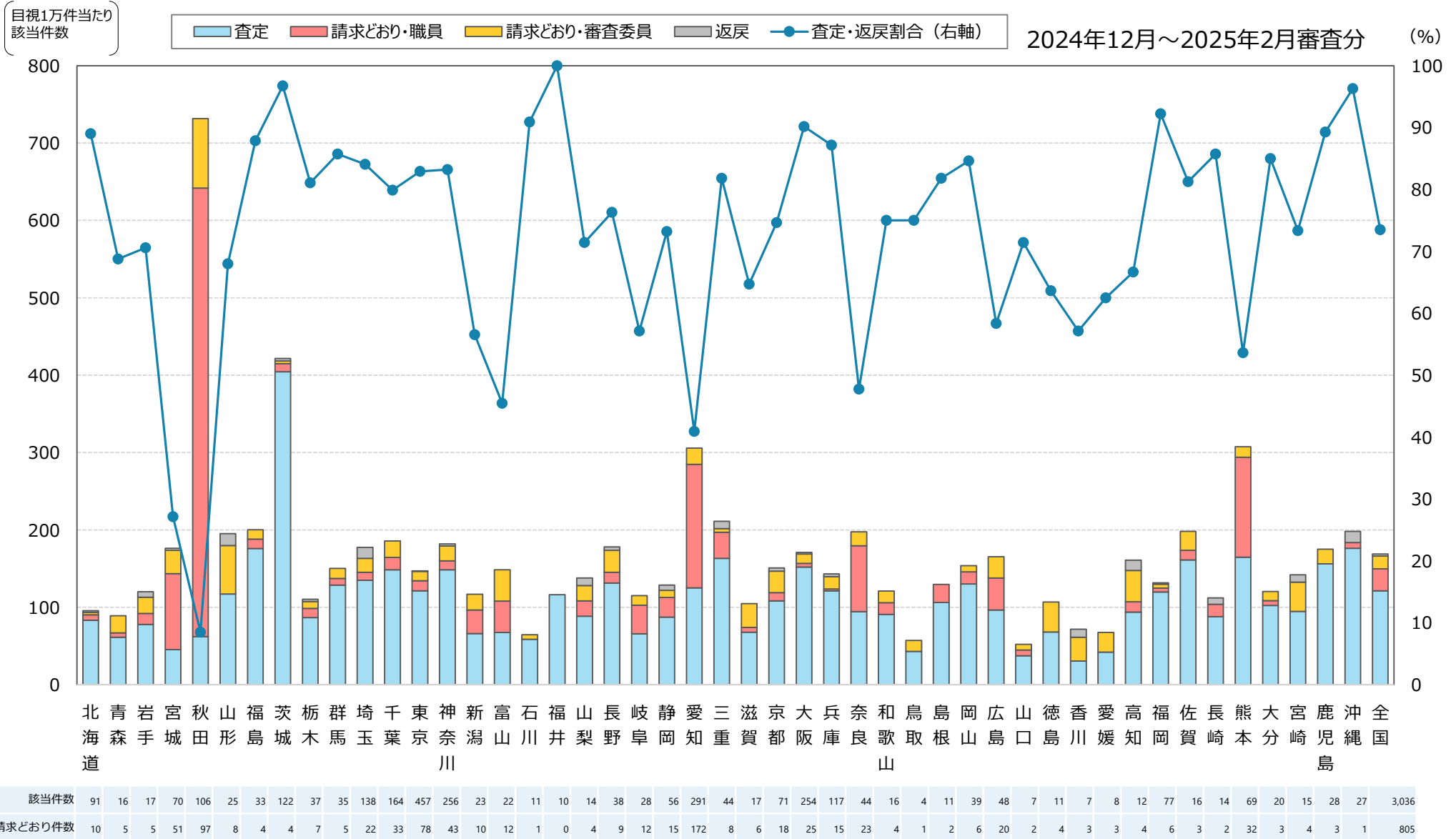
該当件数に対する検証結果

2024年12月～2025年2月審査分

検証の結果、該当件数3,036件のうち、**取扱いと異なる審査は108件（3.56%）**
検証対象42都道府県のうち、**フォローアップ対象は7都道府県**

都道府県		検証結果											
		該当件数	取扱いに基づく適正な審査						取扱いと異なる審査 （ＣＣ解除等の誤処理）				
			計	適正 審査 合計	適正審査 の割合	査定・返戻							請求どおり
						査定	返戻	査定 返戻 計					
01	北海道	91	89	97.80%	79	2	81	8	2	2.20%	2	0	
02	青森	16	14	87.50%	11	0	11	3	2	12.50%	0	2	
03	岩手	17	16	94.12%	11	1	12	4	1	5.88%	0	1	
04	宮城	70	52	74.29%	18	1	19	33	18	25.71%	15	3	
05	秋田	106	106	100.00%	9	0	9	97	0	0.00%	0	0	
06	山形	25	24	96.00%	15	2	17	7	1	4.00%	0	1	
07	福島	33	30	90.91%	29	0	29	1	3	9.09%	1	2	
08	茨城	122											
09	栃木	37	32	86.49%	29	1	30	2	5	13.51%	4	1	
10	群馬	35	35	100.00%	30	0	30	5	0	0.00%	0	0	
11	埼玉	138	128	92.75%	105	11	116	12	10	7.25%	8	2	
12	千葉	164	164	100.00%	131	0	131	33	0	0.00%	0	0	
13	東京	457	438	95.84%	377	2	379	59	19	4.16%	3	16	
14	神奈川	256	251	98.05%	209	4	213	38	5	1.95%	5	0	
15	新潟	23	22	95.65%	13	0	13	9	1	4.35%	0	1	
16	富山	22	22	100.00%	10	0	10	12	0	0.00%	0	0	
17	石川	11											
18	福井	10											
19	山梨	14	12	85.71%	9	1	10	2	2	14.29%	0	2	
20	長野	38	38	100.00%	28	1	29	9	0	0.00%	0	0	
21	岐阜	28	23	82.14%	16	0	16	7	5	17.86%	2	3	
22	静岡	56	54	96.43%	38	3	41	13	2	3.57%	1	1	
23	愛知	291	289	99.31%	119	0	119	170	2	0.69%	1	1	
24	三重	44	42	95.45%	34	2	36	6	2	4.55%	1	1	
25	滋賀	17	17	100.00%	11	0	11	6	0	0.00%	0	0	
26	京都	71	67	94.37%	51	2	53	14	4	5.63%	0	4	
27	大阪	254	247	97.24%	226	3	229	18	7	2.76%	6	1	
28	兵庫	117	115	98.29%	99	3	102	13	2	1.71%	2	0	
29	奈良	44	42	95.45%	21	0	21	21	2	4.55%	2	0	
30	和歌山	16	16	100.00%	12	0	12	4	0	0.00%	0	0	
31	鳥取	4	4	100.00%	3	0	3	1	0	0.00%	0	0	
32	島根	11	11	100.00%	9	0	9	2	0	0.00%	0	0	
33	岡山	39	36	92.31%	33	0	33	3	3	7.69%	2	1	
34	広島	48	45	93.75%	28	0	28	17	3	6.25%	2	1	
35	山口	7	7	100.00%	5	0	5	2	0	0.00%	0	0	
36	徳島	11	11	100.00%	7	0	7	4	0	0.00%	0	0	
37	香川	7	7	100.00%	3	1	4	3	0	0.00%	0	0	
38	愛媛	8	6	75.00%	5	0	5	1	2	25.00%	0	2	
39	高知	12	12	100.00%	7	1	8	4	0	0.00%	0	0	
40	福岡	77											
41	佐賀	16	15	93.75%	13	0	13	2	1	6.25%	1	0	
42	長崎	14	13	92.86%	11	1	12	1	1	7.14%	1	0	
43	熊本	69	69	100.00%	37	0	37	32	0	0.00%	0	0	
44	大分	20	18	90.00%	17	0	17	1	2	10.00%	1	1	
45	宮崎	15	15	100.00%	10	1	11	4	0	0.00%	0	0	
46	鹿児島	28	27	96.43%	25	0	25	2	1	3.57%	0	1	
47	沖縄	27											
全国		3,036							108	3.56%	60	48	

※グレーは検証前データ又は検証の結果により、少数事例に該当



【該当件数】経過観察時における二次性高血圧症等がない高血圧症のみに対してレニン活性等を算定しているレセプト件数